

基本様式3(成果指標及び目標)

		重点手続分野名	その他	
		手続群又は手続名	生命保険(募集人登録・届出)	
区分	指標	指標の説明(内容、測定方法等)	基準値(現状)	目標(見込み)・達成時期、その前提条件等
①国民の利便性向上に関する指標	オンライン申請時間	ログインから申請終了までの時間を計測する。	①通常期:15分以内 ②繁忙期:30分以内(生保会社の合併時等)	現状の処理時間以内を維持する。
	利用者満足度	オンライン申請利用方法の判り易さや画面遷移の少なさ等の操作性について、利用者の満足状況をヒアリングする。	満足度:高 (初心者でも短期に習熟可能であり不満はないとのこと。)	現状の満足度を維持する。
②行政運営の効率化に関する指標	行政コスト	(1年間あたりのシステム整備経費+運用経費)/オンライン申請件数を計測する。	460円/件(当該手続のみ)	現状のコスト水準を維持する。 当該手続だけで電子申請・届出システムを稼働させている訳ではないことから、当該手続だけで行政コストを計ることは必ずしも適切ではないが、少なくとも外的な要因以外で、コスト上昇となることがないように取り組む。
	事務処理時間の短縮①	調査の為に募集人の検索に要する時間を計測する。	①難読氏名募集人の検索:5分 ②1万人超の募集人を有する代申会社からの募集人の検索:5分	金融庁業務支援統合システムの開発を実施することで、当初計画で定めた目標を平成24年度中に達成することができた。
	事務処理時間の短縮②	確定処理でエラーが生じた場合の対象エラーデータの特定に要する時間を計測する。	0分	金融庁業務支援統合システムにて処理方式を見直し、確定処理を不要とし、データを定期的に洗い替えることとしたため、エラー処理が発生することはなくなった。
③国民の利便性向上と行政運営の効率化共通指標(オンライン利用率等)	オンライン利用率	当該手続に関する申請件数についてオンラインによる申請件数の割合を計測する。	100%	現状のオンライン利用率を維持する。
	システム稼働率	メンテナンスによる計画停止や天災事変による場合を除き、システム障害等により利用者がサービスを利用できない時間を把握し、年間の稼働率を計測する。(ただし、e-Govの停止時間を除く)	99.94%(SLAでの規定値) (平成23年度の実績は100%)	現状のSLA規定値以上のシステム稼働率を維持する。
④その他の指標	-			
備考				
(注)1 当初計画の内容と同じ事項については、当初計画の内容を記載する。 2 当初計画の内容を変更・修正・追加・削除した場合には、該当箇所に下線を付すとともに、「目標(見込み)・達成時期、その前提条件等」欄に、その理由・背景事情等を記載すること。				